

## 臨床医学演習

責任者・コーディネーター	腎・高血圧内科分野 旭 浩一 教授		
担当講座・学科（分野）	腎・高血圧内科分野、小児科学講座、消化器内科分野、呼吸器内科分野、血液腫瘍内科分野、臨床検査医学講座、糖・代・内分泌内科分野、膠原病・アレルギー内科分野、産婦人科学講座、循環器内科分野、脳神経内科・老年科分野、衛生学公衆衛生学講座		
担当教員	仲 哲治 教授、田中 文隆 准教授、房崎 哲也 准教授、梁井 俊一 特任准教授、大浦 一雅 講師、田鎖 愛理 講師、外館 玄一郎 講師、柿坂 啓介 講師、内海 裕 助教、佐々木 了政 助教、羽場 巖 助教、本間 博之 助教、高橋 進 非常勤講師		
対象学年	3	区分・時間数	講義 0コマ 0.0時間
期間	後期		演習 13コマ 19.5時間
			実習 0コマ 0.0時間

### ・学習方針（講義概要等）

医療の実践には、膨大な医学領域に関する基盤知識の修得ばかりでなく、個々の患者の病態生理を正確に把握し、適切な治療に結びつける問題解決能力を必要とする。本演習では、これまで学んだ基礎医学の知識に加え、3学年後期に学んだ臨床医学の基盤知識を統合活用し、鑑別診断、治療方針の決定に結び付く分析力・問題解決能力を演習形式で涵養する。

### ・教育成果（アウトカム）

各種疾病の鑑別診断・治療の実践に必要な病態生理・診察に係る基盤知識を統合し、問題を解決できる。

(ディプロマ・ポリシー： 4 )

### ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	演習問題の作問意図を指摘できる。
2	演習問題の関連知識を説明できる。
3	正解を導くに至った基礎知識と思考過程を説明できる。

### ・講義場所

講義：東1-C講義室

### ・講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
演習	9/30(金)	1	消化器内科分野	柿坂 啓介 講師	消化器病学（肝臓分野）で履修した内容の演習	1,2,3
演習	10/7(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	予防医学で履修した内容の演習	1,2,3
演習	10/14(金)	1	消化器内科分野	梁井 俊一 特任准教授	消化器病学（消化管分野）で履修した内容の演習	1,2,3
演習	10/21(金)	1	糖・代・内分泌内科分野	本間 博之 助教	内分泌・代謝病学で履修した内容の演習	1,2,3
演習	10/28(金)	1	産婦人科学講座	羽場 巖 助教	産婦人科学で履修した内容の演習	1,2,3
演習	11/7(月)	5	呼吸器内科分野	内海 裕 助教	呼吸器病学で履修した内容の演習	1,2,3

演習	11/11(金)	1	循環器内科分野	房崎 哲也 准教授	循環器病学で履修した内容の演習	1,2,3
演習	11/14(月)	5	臨床検査医学講座	高橋 進 非常勤講師	臨床検査医学で履修した内容の演習	1,2,3
演習	12/5(月)	5	脳神経内科・老年科分野	大浦 一雅 講師	神経病学で履修した内容の演習	1,2,3
演習	12/9(金)	5	血液腫瘍内科分野	佐々木 了政 助教	血液病学で履修した内容の演習	1,2,3
演習	12/13(火)	5	膠原病・アレルギー内科分野	仲 哲治 教授	免疫病学で履修した内容の演習	1,2,3
演習	12/20(火)	5	腎・高血圧内科分野	田中 文隆 准教授	腎臓病学で履修した内容の演習	1,2,3
演習	1/4(水)	1	小児科学講座	外館 玄一郎 講師	小児科学で履修した内容の演習	1,2,3

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

<p>【総括評価】 進級試験成績（100％）で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。</p> <p>【形成的評価】 小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。 実習中の口頭試問および毎時間の実習内容等をまとめたポートフォリオを評価し、学生にフィードバックする。</p>
---

・特記事項・その他

<p>シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。</p>
--

・教育資源

教科書・参考書、講義室、図書館、PC、インターネット環境
------------------------------

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン iMac Retina 一式	1	講義資料・試験問題作成